



アジサイが鮮やかに色づき始め、梅雨の気配を感じる季節となりました。季節の変わり目、体調の変化に気を付けながら、梅雨の時期ならではの自然や雰囲気を味わいたいと思います。

6月のねらい

- 梅雨期の過ごし方や自然に関心をもち、生活や遊びに取り入れる。
- 様々な思いを互いに伝え合い、遊びを進める楽しさを感じる。
- 身近な素材や用具を使い、考えたり試したり工夫したりして遊ぶことを楽しむ。

5月の保育より

メダカが卵を産みました



はと組でお世話をしているメダカが卵を産んでいるのに気が付き、メダカの卵の観察が始まりました。約1ミリメートルのちいさなちいさな卵をマイクロスコープ(デジタル顕微鏡)を使って見てみると、黒い目や、赤く動く心臓、背骨のようなものまで見えて、みんな興味津々！じっくり観察していると、稀にメダカの赤ちゃんが卵の中でくるっと動くのが見えて「あっ、動いた！」と大興奮でした。

ところで、卵の観察が始まっていますが、今のところ1匹も孵化していません。メダカの赤ちゃん、無事に産まれるのでしょうか。

サヤエンドウを食べました



はと組で育てているサヤエンドウがちょうど4つ実ったので、ひとり1つずつ収穫しました。茹でて食べてみると、「おいしい！」「あまい！」とみんな嬉しそうでした。たくさん収穫できたら、他のクラスのお友達にもお届けしたいと思います。

お林展望公園に行ってきました



今年の春は、雨の日が多かったように感じます。お林展望公園に行った日も、雨上がりの曇天。それでも、子どもたちは園外の自然に触れて、のびのびと遊んでいました。

今年度初めての、縦割りグループ(異年齢児合同のグループ)での活動もありました。それぞれのグループで、はと組の子どもたちが自分なりにリーダーシップをとって年下の子どもたちに関わろうとする姿が見られ、頼もしく感じました。

「また行きたい」と子どもたち。本格的な梅雨に入る前にお散歩に出かけて、園周辺の自然にも触れたいと思っています。